景山氏大差で再選

参院選島根選挙区

民主・浜口氏及ばず

後藤氏、共産前回票下回る

参院選が二十九日投票され、島根選挙区（改選数一）は即日開票の結果、自民党前職の景山俊太郎氏（五七）＝総務政務官＝が、県内五十九全市町村で得票トップを取る完全勝利で二十七万三千票余を獲得し、再選を果たした。自民は一九九六年の衆院選から続く県選出国会議員の五議席独占を今回も守った。次点の民主党新人の浜口和久氏（三三）＝党本部組織委員会副部長＝は、景山氏に十九万八千票の大差をつけられた。共産党新人の後藤勝彦氏（三三）＝党県青年学生部長＝、自由連合新人の中島順子氏（五〇）＝党県総支部代表＝は支持を広げられなかった。投票率は68・61％で、一九九八年の前回参院選を4・66ポイント下回った。

当選を確実にし支持者と万歳する景山俊太郎氏（右から２人目）。左は良子夫人＝29日午後８時15分、松江市灘町、選挙事務所

全投票所の投票時間を繰り上げた十五町村の開票作業が始まった直後の午後八時すぎ。早くもテレビが速報で景山氏の当確を打ち、景山氏が喜びの表情で松江市灘町の選挙事務所に現れると、県政財界のトップら詰め掛けた支援者から歓声が起きた。

景山氏は、昨年五月に党公認を得ると、着々と準備態勢を敷いた。県選出国会議員の五議席を自民党が独占する厚い保守地盤。加えて、連立を組む公明党の推薦も得て、盤石の戦い。全市町村からくまなく集票した。

景山俊太郎氏の略歴

総務大臣政務官。島根県議会議員を6期務め、同議長を経て、1995年に初当選。参院交通情報通信委員会理事、参院党国会対策副委員長、党水産部会長。早稲田大学大学院政治学研究科修了。島根県掛合町出身。同町掛合在住。当選2回。

四月の自民党総裁選で小泉純一郎首相に敗れた橋本龍太郎元首相がトップの橋本派の所属。小泉改革については「地方の声を反映させる」と主張し、首長らの求心力を高める戦術を取った。

景山氏が獲得した得票数は、参院選島根選挙区では、五九年に佐野広氏（自民）が得た二十九万三千票、八六年の青木幹雄氏（同＝現党参院幹事長）の二十八万九千票に次ぎ、過去三番目の得票数。六年前の自身の得票数から九万七千票近く増やした。

浜口氏は、党県連の候補者選考の難航から、公示五日前の出馬表明という出遅れが響いた。地区選対も置けない苦境から、終盤は巻き返しに出たが、頼みの労組にも十分に浸透し切れなかった。独自候補の擁立を見送った社民党からは、一定の集票があったとみられる。

後藤氏は、全国的な党の劣勢の中で苦戦を強いられた。自共対決と位置付けて臨んだが、反自民票の取り込みで民主党とぶつかり、前回、党公認候補が獲得した五万五千票に届かなかった。

中島氏は、県内に党の支持基盤がない中での戦い。女性をターゲットにした集票をもくろんだが、遠く及ばなかった。

わくわくする島根に

景山俊太郎氏の話　県民の温かい支援に心から感謝する。選挙期間中に県内を巡り、私の考えを訴え、県民の声もたくさん聞いた。構造改革は大切だが、過疎化、少子高齢化という難問を抱え、地域社会がどうなるか、随分悩んでいることが分かった。今後も地域に足場を置き、ぶれることなく、守っていく。わくわくする島根を目指し、県民と一緒に頑張りたい。

開票結果（30日0時49分 選管最終）

当 273,059 景山俊太郎 57 自民 前
75,034 浜口 和久 32 民主 新
36,582 後藤 勝彦 33 共産 新
16,075 中島 順子 50 自連 新

「改革」論議 深まり欠く

結果は政界の力量差

＜解説＞

地方に痛みが及びかねない「小泉改革」が争点とされた参院選。島根選挙区で自民党・景山俊太郎氏が大勝した最大の要因は、皮肉にも改革をめぐる論議が深まりを欠いたところにあった。

異常な小泉ブームの中で迎えた選挙期間中、四候補は小泉改革を論議の軸に据えた。手法や目指す方向性は別にして、こと「改革」の必要性について、各党間に擦れ違いはなかった。

一九八九年参院選の消費税のように、是か非かの明確な構図ではないからこそ論議の深まりが求められたが、具体策の先送りがそれを阻んだ。

改革に伴う痛みでも、同じことが見て取れた。「地方への配慮」「セーフティーネット」と、処方せんに向けての言葉は違えど、四候補の主張はそれを和らげることで軌を一にした。

有権者側が戸惑う中、改革を戦術に取り込んだのが、ほかでもない自民。痛みに対する地方の不安を、「だからこそ地方の思いを分かる政治家が必要」と、景山氏の集票に結び付けた。

自民支持層に改革の共鳴派と困惑派が混在する構造をにらんだ戦略だった。四月の自民総裁選の県予備選で、橋本派の牙城（がじょう）とされる県内で、敗れはしたものの小泉首相は得票率で35％を得ている。

対抗一番手の民主党。改革と抵抗の両勢力が同居する自民党の二重構造を突くことに、唯一の活路を見いだそうとしたが、党中央主導で決まった候補者選びに対する負い目が、動きを鈍らせたことは否定できない。

政治への関心を高めた小泉ブーム。対極的なまでに静かに推移した選挙戦。有権者は明確な選択基準がない中、従来の支持基盤に乗ったのではないか。結果的に浮かんだのは、冷徹なまでの県内政界の力量差だった。

「改革の中身は、まだ何も決まっていない」。ひもとけば、自民党参院幹事長で党県連会長の青木幹雄氏が雨の公示日に、松江市で説いた一言に、自民勝利の伏線がある。

（本社報道部・福丸泰文）

鳥取は常田氏再選

常田　享詳氏

鳥取選挙区（改選数一）は、自民党前職の常田享詳氏（五七）＝元郵政政務次官＝が厚い保守地盤に支えられて、他陣営に大差をつけ再選を果たした。投票率は66・68％で、前回を3・36ポイント下回った。

常田氏は六年前の参院選で新進党系で出馬し、社会党現職、自民党新人の三つどもえの激戦を展開し辛勝、初当選した。県内保守勢力が一本化した今回は、全市町村に後援会組織を設けて万全の態勢を確立。昨年夏から今年にかけ、郵政政務次官としてIT関係政策ヒアリングで全市町村を回った実績に加え、公明の推薦も受けて保守地盤の厚さに支えられ、他候補を寄せ付けなかった。

いずれも新人で、民主党の佐藤誠氏（五三）＝党県連副代表＝は連合鳥取の全面支援を受けたが大きく届かず、共産党の市谷知子氏（三三）＝党県常任委員＝は若い女性層へ訴えたが及ばず、社民党の山本悟己氏（四六）＝党県連幹事長＝は党勢の低迷もあって出遅れをぼん回できなかった。自由連合の山口昌司氏（四七）＝医師＝は支持を集めることができなかった。

鳥取選挙区 開票結果（選管最終）

当174,574票	常田　享詳	57（自民前）
69,078票	佐藤　誠	53（民主新）
33,826票	市谷　知子	33（共産新）
21,642票	山本　悟己	46（社民新）
9,812票	山口　昌司	47（自連新）

島根選挙区 市町村別得票と投票率

（30日0時49分選管最終）

市町村名	後藤勝彦	中島順子	浜口和久	景山俊太郎	投票率（%）
松江市	8,392	2,867	15,101	37,086	57.71
浜田市	1,510	908	4,391	14,715	61.29
出雲市	4,381	1,323	7,639	28,474	64.13
益田市	2,475	1,445	4,713	17,187	67.57
大田市	1,687	699	3,081	10,986	62.11
安来市	1,386	812	3,786	9,418	65.35
江津市	1,857	578	2,352	8,556	68.77
平田市	928	521	2,898	11,593	69.75
市計	22,616	9,153	43,961	138,015	62.71
鹿島町	282	177	916	3,060	66.53
島根町	141	120	400	2,234	78.91
美保関町	365	178	531	3,313	78.39
東出雲町	746	249	1,711	3,910	68.19
八雲村	437	136	894	2,377	72.29
玉湯町	200	131	686	2,316	68.66
宍道町	450	237	971	4,046	76.55
八束町	335	132	359	1,775	71.37
八束郡計	2,956	1,360	6,468	23,031	72.10
広瀬町	367	242	1,090	3,903	75.53
伯太町	340	132	641	2,019	71.85
能義郡計	707	374	1,731	5,922	74.17
仁多町	211	172	754	4,699	83.55
横田町	276	129	654	4,032	80.60
仁多郡計	487	301	1,408	8,731	82.15
大東町	819	351	1,431	6,780	79.78
加茂町	216	207	678	3,142	79.43
木次町	370	234	1,277	4,669	82.29
大原郡計	1,405	792	3,386	14,591	80.50
三刀屋町	222	123	673	4,526	82.16
吉田村	63	33	203	1,506	89.79
掛合町	62	42	222	2,545	88.71
頓原町	128	45	263	1,557	83.81
赤来町	149	74	250	1,942	83.91
飯石郡計	624	317	1,611	12,076	84.79
斐川町	1,312	502	2,487	10,900	72.82
佐田町	210	84	379	2,359	82.73
多伎町	247	63	320	2,086	82.93
湖陵町	328	114	530	2,188	70.67
大社町	653	301	1,322	7,419	74.70
簸川郡計	2,750	1,064	5,038	24,952	74.68
温泉津町	199	106	532	1,689	76.45
仁摩町	217	129	568	1,930	72.13
邇摩郡計	416	235	1,100	3,619	74.10
川本町	214	118	480	2,225	78.06
邑智町	237	129	406	2,313	80.51
大和村	82	56	204	1,062	83.70
羽須美村	67	64	212	1,148	80.76
瑞穂町	406	112	415	2,481	83.07
石見町	371	143	632	3,080	82.09
桜江町	176	91	278	1,900	83.84
邑智郡計	1,553	713	2,627	14,209	81.57
金城町	248	121	431	2,605	80.75
旭町	127	84	298	1,771	85.08
弥栄村	47	48	190	917	80.94
三隅町	330	203	1,115	3,367	78.13
那賀郡計	752	456	2,034	8,660	80.42
美都町	253	62	239	1,201	82.52
匹見町	66	54	199	1,012	87.62
美濃郡計	319	116	438	2,213	84.63
津和野町	392	184	805	2,334	76.21
日原町	212	154	582	1,845	80.74
柿木村	156	57	174	823	82.37
六日市町	453	214	482	2,114	72.93
鹿足郡計	1,213	609	2,043	7,116	76.89
西郷町	455	325	1,643	4,663	68.66
布施村	13	7	107	246	86.14
五箇村	73	53	274	971	81.11
都万村	62	48	329	920	77.09
海士町	60	48	313	1,306	81.67
西ノ島町	101	92	397	1,471	67.47
知夫村	20	12	126	347	79.91
隠岐郡計	784	585	3,189	9,924	72.36
町村計	13,966	6,922	31,073	135,044	76.97
県計	36,582	16,075	75,034	273,059	68.61

民俗学六十年
全国踏査60年の成果　石塚尊俊 著
日常の事象に深い意味
定価 2,520円 送料310円

増補 松江城物語
松江の歴史とお城、城主の物語　島田成矩 著
14年ぶりの改訂版
定価 1,800円 送料310円

香品!! 味な店 粋な店 全3巻
中海・宍道湖圏域の「食」ガイドブック
①和食編 ②洋食編 ③中華他 1500店を収載
定価 各1,800円 送料310円（3冊セット450円）

しまねの身近な草花
名前を知れば、もっと楽しい
カラー写真で191種類を収録
定価 3,262円 送料340円

新 山陰の海釣り
空撮　島根半島・石見海岸・隠岐島
207カット全面改定
定価 4,200円 送料380円

ワクワク!山陰の海釣り
海釣りの入門書
イラスト入りでやさしく解説
定価 1,680円 送料310円

● お求めはお近くの書店、または最寄りの山陰中央新報販売所、山陰中央新報社の各本社・総局・支社・支局へ
山陰中央新報社の本　〒690 8668 松江市殿町383 TEL0852(32)3420
山陰中央新報ホームページ出版ガイド http://www.sanin-chuo.co.jp/shuppan/